

貸

本屋と新聞縦覧所と図書館と

―近世近代読書装置への史眼―
(廣庭基介セレクション)

文壇文献類従 91

昭和23年に京都大学文学部図書室に勤務し、

図書館職員としての実務に活躍するだけでなく、

図書館史・書誌学について

数多くの研究成果を発表。

また、花園大学をはじめいくつかの大学で

図書館司書資格課程での教育にも従事。

図書館職員が図書館資料現物を知る機会が

極めて少なくなる現在、

司書が持つべき視点や関心について

多くの気づきを与える。

昭和戦後・平成期を歩んだ

図書館人の内発的研究動機から

うみだされた成果を集成。

「今の、若い職員は、文献疎開の話しや、略奪本のこと、毎週のように川端警察署から行政処分日報が送られてきて、発売頒布禁止図書や、閲覧禁止図書の目録カードをケースから撤去し、現物を特定の鍵のかかる書架に別置しなければならなかった話など、聞いたり、話したりすることが無いという。それは関心がないからではない。周囲にそれを知った人が居なければ、全く聞くこともないから、尋ねようという欲求も起らないのだ。筆者に教えて呉れた先輩司書に代わって、筆者自身が語り部にならなければならぬと思っている。」
(本書より)

「私の時代は大学の図書館員というのは、先生が見つけられない本を見つけてくるくらいのもので、努力をしなければ、やつぱり先生からは認められなかったと思います。図書館員にしても事務職員にしても、大学ではやはり、先生から重んじられるような何かを持たなければいけないと思いますね。これは時代錯誤かもしれませんが、

著者……**廣庭 基介**

編者……**菅 修一** (花園大学) / **堤 美智子** (元京都大学)

刊記……2023年10月

造本……A5判 / 総384頁 / 角背上製

価格……24,000円

ISBN 978-4-910998-34-3

金沢文圃閣

貸本屋と新聞縦覧所と図書館と

—近世近代読書装置への史眼（廣庭基介セレクション）



廣庭 基介

1948年から1993年の45年間、京都大学図書館職員。その間、桃山学院大学司書補講習・講師。

仏教大学、関西大学、京都女子大学等で「図書及び図書館史」を講じ、数多くの「貸本屋」・「新聞縦覧所」関係を中心とした論文論文を執筆。

1993年まで京都大学で司書などとして勤務のかたわら、京都大学の蔵書をもとに貸本屋や新聞縦覧所について数々の論文等を発表し、司書業務のかたわら資料研究を進めた。

目次 (抄)

第I部 貸本屋史論

一、江戸時代貸本屋略史

二、〈書評〉 近世文学史の中に位置づけた貸本屋研究

（長友千代治著『近世貸本屋の研究』）

三、〈書評〉 柴田光彦編著『大惣蔵書目録と研究—貸本屋

大野屋惣兵衛旧蔵書目録—』（日本書誌学大系 27 (1) (2)）

四、京大「大惣本」購入事情の考察

五、〈講演要旨〉 江戸時代の貸本屋—大惣を中心として—

六、明治末期高砂周辺の某貸本屋の顧客

第II部 新聞縦覧所

七、新聞縦覧所小論

第III部 図書館とひとの歴史

八、図書館運動の先駆者としての島文次郎

九、幻の市民公開計画—明治30年の京都帝大図書館—

十、日図研、34年前の思い出

十一、続京大図書館史こぼれ話 京大草創期、図書館を巡って

起こった対立事件

十二、十五年戦争期における京大図書館の史的考察

十三、〈書き下ろし〉 私が見聞きした図書館学の先人たち

十四、〈書き下ろし〉 京大図書館歴代館員中の偉かった人々の伝記

十五、〈書き下ろし〉 京大図書館員時代の上司との

エピソード、興味深かった話など

十六、図書館の仕事と貸本屋研究—廣庭基介先生インタビュー

解題

著者あとがき

「史資料を自分で調査・収集して、それらの史資料の中に

「沈潜」して、そこにおける「論理構造」を読み取って、

「体系化」していくという、時間と手間のかかる作業」

（松田隆行『廣庭基介先生傘寿記念誌 アナログ司書の末裔—図書館員は本を目でみて手でさわらなあかんよ』より）



類縁書

浅岡邦雄・大竹正春・梶井純・藤島隆 編

貸本関係資料集成
—戦後大衆の読書装置

【本編 全24+別巻6】【編集復刻版+新組】
A5/B5判 糸上製函 総10,254頁 ¥651,000

【補遺編 全8+別巻】【編集復刻版+新組】
A5判 糸上製函 総3,134頁 ¥198,000



Kanazawa Bumpokaku
金沢文圃閣

〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30
Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

口書店様へ…ありがとうございます 直接小閣までお申し込みください
※図版は本書より〔一部原紙より編集・加工〕 価格は税別 054/10/2000